

元気いっぱい

ほけんだより
令和3年12月 臨時号
福井市子育て支援課



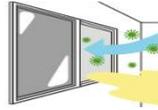
感染性胃腸炎が流行し始めています！
嘔吐時の対応を正しく行うことで、家庭内での感染拡大を防ぎましょう。

感染性胃腸炎による嘔吐時の対応

ノロウイルス等による感染性胃腸炎は、特に11月～2月に流行します。嘔吐や下痢があった場合は正しく処理し、家庭内感染を防ぐことが大切です。

①処理の準備

窓を開け、手袋、エプロン、マスク等を着用します。窓を開けることで、空気中のウイルスや刺激臭を外に出すことができます。



②嘔吐物の処理

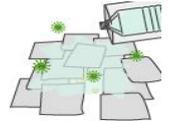
新聞紙やペーパータオルで嘔吐物を広く覆い、その上に0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を注ぎ、外側からかき集めるように回収し、嘔吐物を取り除きます。嘔吐物は、半径2～3m程度飛び散る場合があります。(感染性胃腸炎の物品消毒は、塩素系消毒薬が有効です)

③嘔吐物の回収、拭き掃除

②で回収したものをビニール袋(大)に入れ、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れて密封します。その後、嘔吐物が付着した床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた新聞、ペーパータオル、布等で覆い、10分ほど置いた後、床全体を水拭きします。

④後片付け、手洗い

汚れている面に触れないように注意し、手袋、エプロン、マスクなどを外してビニール袋(大)に入れましょう。袋の空気は抜かず、一般可燃ごみへ捨てましょう。空気を抜くとウイルスが空気中に舞いやすくなります。また、何枚かゴミ袋を重ねるなどして、ゴミ袋に穴が開かないようにしましょう。最後に、石鹸でしっかり手をあらいましょう。



準備物

使い捨てエプロン、ゴム手袋、マスク、市販の塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)、水、新聞紙、ペーパータオル、ビニール袋(大)

0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方
水0.5L(500mlペットボトル1本分)に、10mlの塩素系漂白剤(ペットボトルのキャップ2杯分)を入れます。

※誤飲の原因や日光に当たることで、濃度が低下するのを防ぐ為ペットボトルでの作り置きは控えましょう。

嘔吐物や下痢便が衣類、布団やリネン類に付着したら

衣類やリネン等は、付着した汚物中のウイルスが飛び散らないように処理した後、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗います。下洗いした衣類等の消毒は85℃・1分以上のお湯に浸すか、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒が有効です。その際に十分にすすぎ、高温の乾燥機などを使用すると殺菌効果は高まります。布団などすぐに洗濯できない場合はよく乾燥させ、スチームアイロンや布団乾燥機を使うと効果的です。また、下洗いした場所も次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。次亜塩素酸ナトリウムには漂白作用がありますので薬剤の「使用上の注意」を確認してください。

子どもは自分の体調を上手に言葉で伝えることができません。園内の感染症の状況に留意していただき、いつもより元気がないな・・・食欲がないな・・・と感じたら、無理をせずお休みください。

もし感染してしまった場合は、登園の目安(「元気いっぱい12月号」掲載)を参考に、お子様の体調が回復してから、登園してください。

また、かかりつけ医に受診の際には、園内の感染症の発生状況についてお伝えください。

早寝早起きや、バランスの良い食事をこころがけ、ウイルスに負けない体づくりをしましょう！

病児保育事業

病気治療中や、病気回復期のお子さんで、園にはまだ預けられず、保護者の方も仕事などの都合で休めない場合、一時的にお子さんをお預かりします。

病児病後児保育施設	病後児保育施設
福井愛育病院 愛育ちびっこハウス 福井市新保 2-301 ☎ 54-5757	福井県済生会乳児院 福井市和田中徳万 26 ☎ 30-0300
大滝病院 病児病後児保育園 福井市日光 1-1-1 ☎ 43-6855	福井総合クリニック 福井市新田塚 1-42-1 ☎ 21-1300



↑詳細はこちら